

# 平成28年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 財務課

担当名: 施設企画担当、施設整備担当

内線: 6646

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B22	県立学校大規模改修費			一般会計	教育費	教育総務費	教育財産管理費	県立学校大規模改修費	
事業期間	平成7年度～	根拠法令	なし				戦略項目 分野施策	020104 質の高い学校教育の推進	
1 事業概要				5 事業説明					
<p>県立学校の校舎全598棟については建築後(改修後)20年経過した時点での大規模改修(年30棟程度)を目安としているが、現在は年10棟程度の改修となっている。</p> <p>今回、国の経済対策による国補正予算が成立し、国庫補助金の前倒しの交付があったことから、特別支援学校9棟の大規模改修を実施する。</p> <p>また、当初予算に計上していた設計や工事について、入札差金発生等に伴う事業費の減額を行う。</p> <p>(1) 特別支援学校大規模改修(国補正) 1,724,700千円 国補正予算に対応した事業費の増額</p> <p>(2) 高等学校大規模改修 △234,392千円</p> <p>(3) 特別支援学校大規模改修 △37,068千円</p>				<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 増額補正 国補正予算に対応して実施する特別支援学校の改修工事 1,724,700千円</p> <p>イ 減額補正 改修設計、改修工事 △271,460千円</p> <p>(2) 増額補正の事業計画</p> <p>国の経済対策(「未来への投資を実現する経済対策」H28.8.2閣議決定)による国補正予算が成立し、国庫補助金の前倒しの交付があったことから、特別支援学校5校9棟の大規模改修を実施する。</p> <p>なお、学校の教育活動に支障がない夏期休業日を中心に施工するため、平成29年度に予算を繰り越して実施する。</p> <p>ア 平成28年度2月補正 改修工事 5校9棟 (熊谷特支(4棟)、宮代特支(2棟)、騎西特支(1棟)、毛呂山特支(1棟)、上尾特支(1棟))</p> <p>(3) 増額補正の事業効果</p> <p>ア 経済対策としての効果 約17億円の投資となる改修工事を実施する。</p> <p>イ 県財政面の効果 直近2年間は特別支援学校大規模改修における国庫補助金の不採択が続いており、県単独で事業を実施している。今回、国庫補助金や県債の元利償還金の後年度措置により、県単独で実施した場合よりも県負担を約5.8億円軽減できる。</p> <p>ウ 県立学校の校舎の老朽化対策への効果 特別支援学校の改修を前倒しすることで、高等学校も含めた県立学校校舎全体の老朽化対策を前倒すことができる。</p> <p>(4) 補正予算の概要</p> <p>ア 増額補正</p> <p>(ア) 特別支援学校5校9棟の大規模改修を実施するための増額</p> <p>(イ) 繰越明許費の設定</p> <p>イ 減額補正</p> <p>(ア) 工事請負費に係る入札差金発生等に伴う減額</p>					
2 事業主体及び負担区分									
<p>(1) (国1/3・県2/3)</p> <p>(2)～(3) (県10/10)</p>									
3 地方財政措置の状況									
<p>公共事業等債(補正予算債)(565,000千円)の元利償還金の50%が後年度基準財政需要額に算入される。</p> <p>一般事業債(石綿対策事業)(94,000千円)の元利償還金の40%について特別交付税措置される。</p>									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員									
9,500千円×3人=28,500千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	1,453,240	国庫支出金	300,543	県 債	1,111,000			41,697	3,714,259
現計額	2,261,019			2,209,000				52,019	